**平成２８年度第１回「広島市青少年問題協議会」（結果概要）**

**１　開催目的**

　　青少年問題に関し、教育委員会が喫緊の課題として対応している事業の取組状況について報告し、理解と協力を求めるとともに、それら事業の更なる充実と時宜を得た青少年対策の在り方等について意見交換を行い、今後の施策展開に活かす。

　　また、委員が所属する関係機関・団体の取組等についても情報共有し、相互の連携を図る。

【青少年問題協議会について】

青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法（昭和２８年制定）に基づき制定した、広島市青少年問題協議会条例（昭和３４年制定）により設置する審議会で、次に掲げる事項をつかさどる。

ア　青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査・審議すること。

イ　青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の適正な実施を期するために必要な関係行政機関及び関係団体相互の連絡調整を図ること。

ウ　上記事項に関し、市長、関係行政機関及び関係団体に対し意見を述べることができる。

**２　開催日時・場所**

　日時：平成２８年１１月２８日（月） １７：３０～１９：２０

　　　場所：広島市役所本庁舎１４階第７会議室

**３　出席者**

　　別紙名簿のとおり

**４　議事**

 　**子供たちのスマートフォン等インターネットの使用実態について**

インターネットは現代社会において欠くことのできない便利な情報・通信手段であるが、使い方を誤ると重大なトラブルや事件に発展する危険性がある。

今回は、子供たちのインターネット使用の憂慮すべき一面について、３本の映像を見ながら、その現状を情報共有するとともに、子供たちがインターネットによる被害者・加害者にならないよう協力をお願いして理解をいただいた。

**【映像】**

**①　ＳＮＳに書き込む言葉づかいに関する映像**

子供同士のＳＮＳ上での短い言葉づかいの中で誤解が生じ、本人は何も解らないままに仲間はずれにされてしまう映像

　　　**②　ＳＮＳによる集団いじめの映像**

子供同士のなにげない通常のＳＮＳでのやり取りが、あっという間に特定の子供を集団で攻撃するやり取りに発展し、その子を死に追い込んでしまう映像

　　　**③　ネット上に流出している中学生等の画）像**

育成課がネットパトロールを実施する中で明るみとなった、ネット上に流出している中学生等の不適切な画像（リストカットやたばこ・キスをする中学生の画像、援助交際の仕方を紹介するサイトなど）

**【委員の主な意見】**

・　子供たちは、ＳＮＳでのやり取りの方が、学校等での生の会話よりも重要であると　思っている。トラブルになったときはＳＮＳを止めて、親に相談できる関係を作るとか、スマホは自分の部屋に持ち込まないなど、どうすれば良いかを保護者の方と意見を出し合い考えることが必要である。

・　子供たちは、大人はネット事情に疎いと思っている。こうした映像を見て親はびっくりするが、子供たちは驚かない。親がもっと、子供がやっていることを勉強しなければいけないと思う。

・　映像内容は、知らなかったでは済まされない衝撃的なものであった。大人は、これらをネット社会における現実問題として認識し、家庭や学校はもとより、地域においてもそうした視点で子供たちを見守っていかなければいけないことを痛感した。

・　親の愛情が子供にしっかり注がれ、何でも相談できる家庭であれば、こうした問題は回避できると思う。家庭でしっかり子供を見守る体制を考えていかなければいけないことを実感した。

・　一度アップした画像は一生消えない。就職試験を受ける学生のＳＮＳを調査し、その内容によっては試験を受けさせないという企業もあるなど、ネットの危険性を理解し不用意な書き込みをしてはいけないことを出前講座で話している。

・　親自身がＳＮＳを介して特定の者を排除するようなやり取りをしている。鏡のように子供も同じ行為をするので、親の教育も必要ではないかと思う。

・　親自身が使用する現代の便利な情報・通信手段を子供に止めさせることは難しい。子供たちが常識で自分をコントロールできるよう、「死ね」などの言葉を書き込む行為は犯罪の恐れがあることをしっかり教えるなど、世の中のルールを守ることを指導していかなければいけない。